



青少協だより

希望

No.185

2023年(令和5年)2月

発行 神戸市

問合せ先

こども家庭局こども青少年課
神戸市中央区加納町 6-5-1
tel 322-5181 fax 322-6043

■ 私たちの地域活動を紹介します ■

東灘地区青少年育成協議会 本二支部

青少協本二支部では、PTAや地域の諸団体と協力し、子どもたちが安心安全に過ごせるように様々な活動を行っていますが、中でも子どもたちが楽しめるイベントに力を入れています。

昨年は、2月に好きな漢字とその理由を書く「漢字一文字コンテスト」、4月に大学生と交流する「甲南大生と遊ぼう」を開催し、7月に子どもたちが作った灯ろうを夜間に小学校で展示しました。また11月には、プラネタリウム観賞とペットボトルロケットの打ち上げも行いました。準備はなかなか大変ですが、子どもたちの喜び様子を励みに、支部のスタッフが各自の得意分野で頑張っており、ワイワイがやがや、にぎやかに活動しています。(支部長 黒田 朋弘)



漢字一文字コンテスト (文字を選んだ理由も素敵)



プラネタリウム (いざ、星の世界へ)



ペットボトルロケット (舞い上がれ!)



灯ろう (暗くなるともっときれい)

中央区 小野柄青少年育成協議会

小野柄地区では、季節に応じてさまざまな活動を行っていますが、中でも七夕まつり、三世代交流、もちつき大会には大勢の人が集まります。

三世代交流は、地域の掲示板や児童館、学校で広報し、みんなで輪投げ大会をします。

もちつきは、昔ながらの杵と石臼を使うため、子どもたちには貴重な体験となっていると思います。ほかにも新春の集いでみんなで太鼓を叩いたり、クリーン作戦や、一年を通して見守り活動も実施しています。

これからも、子どもから高齢者まで行事を通じて地域みんなが交流し、助け合うきっかけになるような活動をしていけたらと思っています。

(会長 寺田 節子)



楽しい餅つき大会



まちをキレイに!クリーン作戦



三世代が交流する輪投げ大会

青少年 守ろう伸ばそう 地域から

令和4年度 青少年育成市民運動推進目標

子どもたちとの「ふれあい」の機会を持ちましょう

○あいさつで地域を元気に

今年も、3月1日(水)から4月30日(日)まで「あいさつ運動特別強調期間」を実施します。みなさんのあいさつで、地域を明るく、元気にしていきましょう。

子どもたちが安心して過ごすことのできるまちに

○子どもたちに安全を

スマートフォンの普及により、子どもたちと他者との関わりが見えにくくなっています。気軽に話せる環境を作ることで、子どもの安全を守りましょう。

第41回こうべユース賞 若者たちの活躍を讃えて個人49名、13団体を表彰

文化・スポーツ・社会活動の各分野で活躍した青少年を表彰する「こうべユース賞」の今年度の受賞者が決まりました。(大会成績は、令和3年1月から令和4年12月の2年間の内容が対象。表彰式は実施しません。)

文化部門：個人9名・団体6団体、スポーツ部門：個人40名・団体7団体
(社会部門：該当なし)

受賞されたみなさん、おめでとうございます。今後の一層の飛躍と活躍を期待しています。



受賞者はこちらよりご覧ください



青少年を守る店を訪ねて



六條商店 神戸市兵庫区 (兵庫地区青少年育成協議会入江支部)

六條 進 さん



お店は昭和24年に現在の場所で創業し、私で2代目です。「守る店」は、今から15年ほど前に青少協育成委員の方からお声がけいただき、登録しました。

ここ数年は、コロナ禍により開催できていませんが、8月には「夏休み宿題塾」を10年ほど続けてきました。20人ほどの子どもたちが、週に2回自治会館に集まって一緒に宿題をするのですが、それだけでなく、我々大人が地域の歴史の話や自作の紙芝居をして、地域について知ってもらおう場になっています。子どもたちは熱心に聞いてくれます。

また、2年に1回ですが校区内にチラシで呼びかけ、「防災運動会」も開催しています。大人から子どもまで多いときは250人程度が集まり、消火器の使い方はもちろん、クイズやゲームで楽しみながら防災について学んでいます。昨年の秋には小学校へ行き、4年生に阪神淡路大震災について話しました。年末には20人ほどで一週間、夜間の見回り活動も行いました。

またこれも10年以上になりますが、登校時にはお店の前に立ち、あいさつをしています。年明けには、子どもたち

ひとこと

が、毎朝のあいさつに対するお礼の手紙を持ってきてくれたので、店内に貼っています。

お店には、小さい子もお客さんとして来ます。計算ができずに「これとこれ足したらなんぼ?」と聞いてくる子もいます。そんなときは、お小遣いを使いながら自然に覚えられるように一緒に計算します。今までで危険な目にあい、お店に駆け込んでくる子どもはいませんでしたが、子どもたちとの会話で気になることがあった場合などは、その場所まで一緒に見に行くようにしています。

以前は公園に子どもがたくさんおり、集団で遊んでいましたが、いつの頃からか、集団で遊ぶ子どもが少なくなっているように思います。コロナの影響もあるのかもしれませんが。

私が子どもの頃は、公園に10~20人ぐらいが集まり、かくれんぼや鬼ごっこをしていました。近所の大人たちが見守ってくれているという安心感がありました。

この辺りは震災の影響で、まちの様子が大きく変化しました。単身世帯が増え、横のつながりが持ちにくくなっていますが、将来若い人がまちを維持していくために、今から横のつながりを作っていくことが必要だと考えています。そのために、これからもきっかけになるような活動を続けていきたいと思っています。